

地域の情報ちょっとお届け!

CSW (コミュニティソーシャルワーカー) より

市社会福祉協議会 担当職員の紹介

●CSW (コミュニティソーシャルワーカー) 担当: 安藤 崇

4月より、大野北地区の担当となりました安藤です！子どもから大人まで困りごとを抱えている方や、ボランティア活動を希望する方の相談にのったり、居場所や相談の場づくりの活動を行っている地域のボランティアさんのお手伝いなどをしています。

●CSW 支援員 担当: 斎藤 梢

高齢者が地域でいきいきと暮らせるように、体操活動や居場所づくり、見守り、生活の支援などをより充実するための住民活動をお手伝いしています。皆さんの活動へ仲間入りさせて頂くことで高齢者の生活課題の把握や、地域のことを学ばせて頂いています。楽器の演奏をしたり音楽が大好きです。地域で見かけたらお気軽に話しかけてくださいね！

今後は具体的な活動や地域情報の発信をしていきますのでよろしくお願ひいたします。

【問合せ】相模原市社会福祉協議会 ☎042-704-6275

●担当地域●

東淵野辺

共和

大野台3丁目1~12

高根1丁目

由野台1・2丁目

鹿沼台

熱中症から身を守りましょう

- ◆「高齢者のための熱中症対策」相模原市&大塚製薬のパンフレットが出来ました。希望の方はセンターまでお声かけください。
- ◆「クールシェアさがみはら」が6月2日から開始しました。ポスターを掲示している協力施設にて暑さをしのいでみてはいかがでしょうか

年を重ねても あんしん ご近所の輪

いつでも
ご相談ください

TEL. 042-768-2195

大野北第2地域包括支援センター

日曜・祭日を除く ● 8:30から17:15

〒252-0233 相模原市中央区鹿沼台1-3-17

ヴィアーレ鹿沼台1-C号



地域包括支援センター



大野北第2☆通信

令和7年7月発行

7月号

発行者: 大野北第2
地域包括支援センター

ごみ出し支援事業(ふれあい収集)モデル実施について

相模原市では令和7年秋開始を予定として、ごみ出しが困難な高齢者や障がいのある方を対象に市内3地区をモデル地区と選定し、ふれあい収集を開始します。

「ふれあい収集」とは家庭ごみを集積場所まで持ち出すことができないひとり暮らしの高齢者や障がいのある方を対象として、自宅敷地内や玄関先から直接収集するごみ出し支援のことです。これまででは、地域内の助け合いで支えられてきた面もありますが、高齢化の進展に伴いニーズが高まっており、近年 福祉サービスの一環として全国の自治体で導入されてきています。

1. 収集対象者

一人暮らし又は世帯全員が

- ①介護保険の要介護2以上の居宅サービス利用者
- ②身体1・2級、療育A1・A2、精神1級の手帳所持者
かつ
- ③家庭ごみを自ら集積場所に持ち込むことができない
- ④親族や近隣住民の協力を得ることが困難



2. モデル事業実施時の収集体制

項目	内 容
収集の体制	直営(環境整備員が軽ダンプにより2人1組で収集)
収集地区	津久井地区(緑区)、 大野北地区(中央区) 、東林地区(南区)
収集日	週1回
収集ごみの種類	「一般ごみ」「資源」「容器包装プラ」「使用済み小型家電」

3. 見守り・安否確認の方法

- ①ごみが出ていない場合、インターフォンを鳴らすなどにより安否確認を実施
- ②安否確認が取れない(応答がない)場合は、緊急連絡先に連絡を入れる

上限世帯数が決まっていないので、条件が合えば申し込みが可能です。

夏頃から受付開始を予定しているのでご希望の方はご相談ください。



9月21日は、「認知症の日 (世界アルツハイマーデー)」

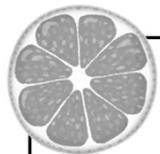
9月の「認知症月間・認知症の日」に合わせて、
今年もオレンジガーデニングプロジェクトに参加します。
♪大野北地区に、オレンジ色の花を咲かせませんか♪

オレンジ色は、認知症啓発のシンボルカラーです。
「認知症になっても暮らしやすいまちをみんなで創っていこう！」
という思いを共有し、今年も楽しんで育ててくださる方を募集中です！

◎地域の方や、事業所さんでお花を育ててくださる方を募集しております◎

今年は、
★東淵野辺 ★鹿沼台 ★共和 ★大野台にお住まいの方々、
★共和中学校 ★脳活クラブさん
★グループホームライブラリ古淵さん ★大野北公民館さん
より既にご協力をいただいております。

また、駅前花壇にも包括で種を蒔いております。
まだまだ種がありますので、自治会の花壇やご自宅等、
お花好きの方がいらっしゃればぜひお声かけください。



「おれんじ色」の写真で缶バッヂこい！ キャンペーンについて

相模原市では、認知症についてより多くの方に
知っていただくために、9月21日の認知症の日に向けて、
認知症啓発のシンボルカラーである「おれんじ色」をイメージした写真や、
認知症に関するコメントを募集しています！



また、咲いたお花の写真や手作りの oreんじ色の作品を
おさんぽギャラリーに飾って「認知症の日」に一緒に参加をしませんか

～ご相談・お問合せは 地域包括支援センターまでお気軽におどうぞ～

大野北第2地域包括支援センター

TEL : 042-768-2195



【地域の方の実体験】 こうやって元気になりました！

以前困っていたこと・どの様な状態だったかを教えてください。

鹿沼台在住
77歳・女性

- 膝や背椎、手や足の指の変形がありながらも色々な活動に参加していましたが、コロナの流行以降外に出なくなり、よく転ぶようになりました。

今はどうなりましたか？

- 一生無理だと思っていた階段の上り下りが、手すりにつかまりながらではありますができるようになりました。
行きたかったバスツアーにも1度行けました！行ってみると、平らな道ばかりではないとわかったので、今は鹿沼公園で砂利道などを歩く練習もしています。

どのような取り組みをされましたか？

- 専門家に足の筋力のつけ方を教わり、毎日取り組みました。
やっているうちに、『こうやって動かすとここに効く』とわかる
ようになりました。

専門家と話す中で、今の自分でも電車に乗って出かけることが出来るとわ
かり、少し離れた場所にも出かけるようになり、気持ちの上でもプラスにな
っています。



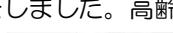
今回もご利用されたのは、相模原市の短期集中予防サービスです。

12週間・週1回事業所に通い、運動の専門職に自分に合ったトレーニング内容等を指導してもらい、自宅で運動する習慣を身につけることを目指すものです。



共和中学校で 「高齢者への理解」福祉体験講座

6月6日（木曜）共和中学校の1学年を対象に福祉学習
「みんないいひと体験講座」があり、パラスポーツ・手話・車椅子体験・外出支援などの8講座
の中の「高齢者への理解」をオレンジサポートセンターと地域包括支援センターで担当させて
いただきました。身体変化や認知症、心の変化などの話をしました。高齢者の疑似体験では、
ゴーグルや重りをつけて、お金を数える、メニューを見る、
ラジオ体操等を体験し、「膝の痛い人の気持ちがわかった」
「一番困ることは何？」などの質問があがりました。
一人一人困っていることが違うことや本人の思いに寄り添う
大切さを学んでいただきました。
お元気な方々が取り組んでいる活動として、
百歳体操やサロン活動を紹介しました。
今後も高齢の方・認知症がある方と「共に暮らす地域」を
考えるきっかけになる活動を続けたいと思います。





ありがとうございます